

経営比較分析表（令和3年度決算）

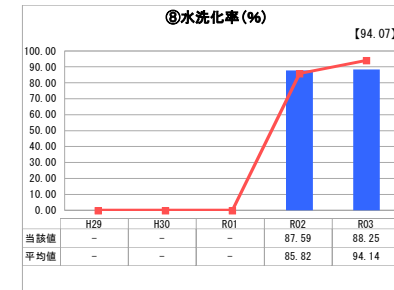
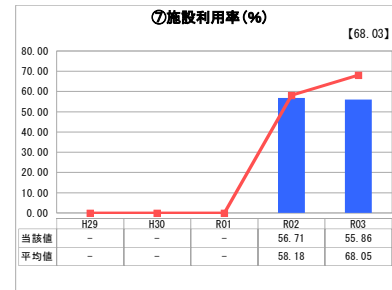
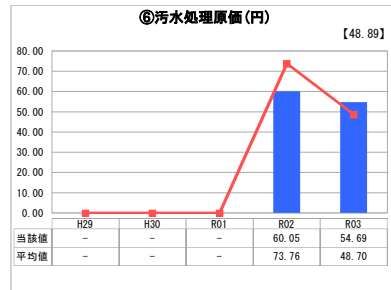
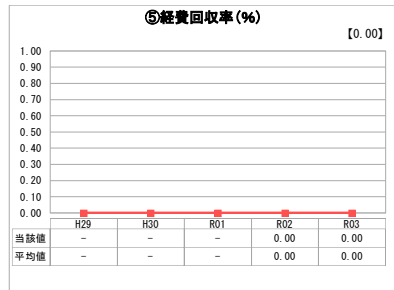
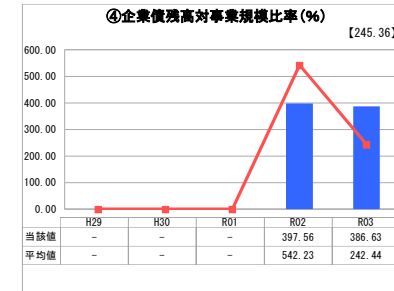
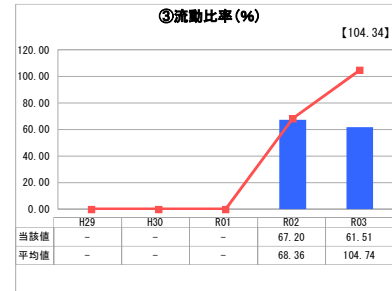
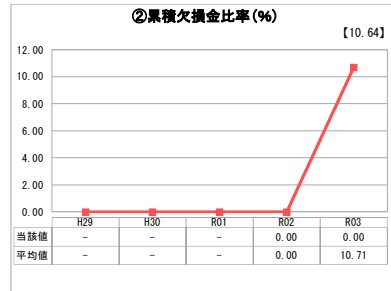
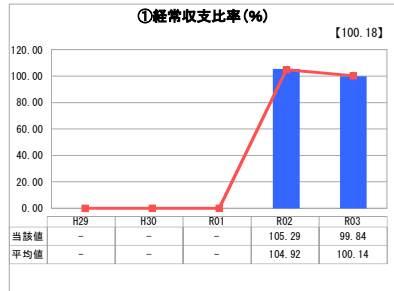
岐阜県

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	流域下水道	E1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.55	55.02	99.14	0

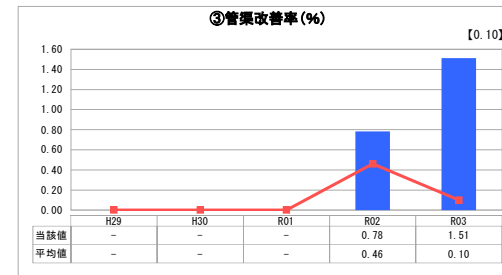
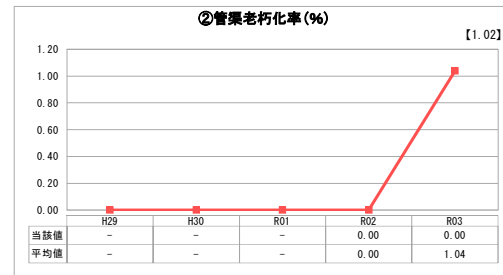
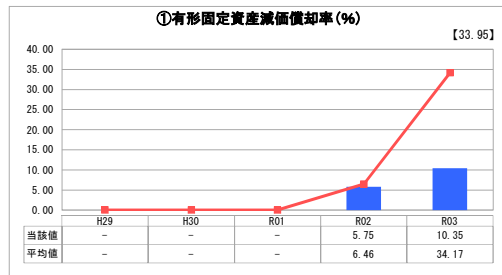
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,996,682	10,621.29	187.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
433,647	119.72	3,622.18

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率
経常収支は99.8%で概ね収支均衡となっている。
- 流動比率、企業債残高対事業規模比率
流動負債に建設改良費等に充てられた企業債が含まれているため100%を下回っているが、償還財源は関連市町の負担金により確保できており、資金不足は生じていない。
- 汚水処理原価
前年度比では減少しているが、類似団体に比べ高い状況にある。引き続き効率的な運営を図る。
- 施設利用率
処理量は前年比で微減した。水処理施設整備は概成しており、適切な処理機能の維持に努めるとともに、利用率の向上を図る。
- 水洗化率
関連市町が下水道整備を実施し、流域下水道に接続することにより、水洗化率は増加した。今後も関連市町と連携して水洗化率向上を図る。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率
令和2年度から公営企業会計に移行したため、過去の減価償却費が反映しておらず、低い数値となっている。
- 管渠老朽化率
供用開始が平成3年4月であり、法定耐用年数を経過した管渠はない。引き続きストックマネジメント計画による施設の更新・長寿命化を図る。
- 管渠改善率
定期的な点検等により、要対策箇所の変更工事等を行うなど施設の維持管理を図る。

全体総括

関連市町からの負担金により経営しているため、流入汚水量に合わせた施設整備を実施し、効率的な管理運営等による経費節減を図り、適正な負担金単価を設定することで、必要な財源を確保し、持続的・安定的な経営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。